



とつか

2021年1月会報 第315号

- 国際会長(IP) Jacob Kristensen (デンマーク)
- 2020 主 題 “VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP” (価値観、エクステンション、リーダーシップ)
スローガン “TRUST IN THE RIVER OF LIFE” 「命の川を信じよう」
- アジア太平洋地域会長(AP) David Lua (シンガポール)
- 主 題 “Make A Difference” 「変化をもたらそう」
- ～ スローガン “INSPIRE” 「奮い立たせよう」
- 東日本区理事 (RD) 板村 哲也 (東京武蔵野多摩)
- 主 題 「変化をたのしもう！」 “Let's enjoy Changes.”
- 副 題 「助け合い、分かち合い」 “Let's help and share each other.”
- 2021 湘南・沖繩部部長(DG) 古田 和彦 (横浜)
- 主 題 「クラブを超えてワイズ間の交流を図り、共に YMCA に仕えよう」
- クラブ会長 若木 一美 会長主題 「咲かそう 人の輪」
- 直前会長 浦出 昭吉 書記 加藤 利榮 会計 岡 進



会員ひと言 ☆断・捨・離から始めます…☆ 加藤 利榮



皆様、新年明けまして…と申し上げてよいのかどうか…、この1年も何とか無事・平穏に…。1年の計は…、やはり何と申しても今です…。今年も、以前から実行したいと考えていることがあります、ヨガの世界で言われる「断捨離」についてです。「入ってくるモノを断つ」「不要なモノを捨てる」「モノへのこだわりから離れる」ことへの実行です。「欲深き人の心と降る雪は 積もるにつれて道を失う」と詠んだ幕末の志士のコトバをフツ思い出しました…。さし当り真ん中の「捨」から始め、現役時代の書類や着古した衣類に至るまで…。と。思えば、昨年の2月ごろからステイホームは始まりまして、…落ち着いてくると、何か一つ事でも…と考え、NHK・BS2で土日を除く毎日放映している「懐かしのスクリーン」を観ることにしました。制作年代・題名・出演者・放映時間…とメモを取っていくうちに、今では60本ほどに…。最も古いのでは1937年制作・L. ジューベ主演の「舞踏会の手帖」、上映時間144分の長尺ものでした。はてさてワイズの方は…となると、ZOOMやらオンラインやらで、四苦八苦…、YMCAの事業委員会も日ごろの迫力はいずこへ…の日々、やはり〇〇年にわたって培ってきたアジアトはムシできません…、コロナの一日も早い終息を…。

◎今月の聖句◎

父である神とわたしたちの主キリスト・イエスからの恵み、憐れみ、そして平和があるように。

—テモテへの手紙Ⅱ第1章第2節から—

コロナに明けコロナに暮れる日々でも、新玉の年を迎え神も祝福しておられます。神の母に捧げられたこの日に、世界の平和と一人ひとりの幸せを祈ります。

今日の日が一日も早く喜びと希望の時になりますように…。

強調月間 IBC/DBC

IBC(International Brother Clubs)は、国外の特定クラブと兄弟縁組の締結をして永続的な交流を図ること。

DBC (Domestic Brother Clubs) は、IBCに倣った国内版ともいうべき日本独特の用語です。

わたしたちの横浜とつかクラブには、IBCには恵まれないものの、DBCの方は2004年に、クラブ設立10周年を機に、名古屋グランパスクラブと締結、今日に及んでいます。機会に恵まれれば、更なる交流を期待したい。

なお、ひと言付け加えると、グランパスクラブの吉田一誠ワイズは、日本区最後の96～97年度第42代理事を務められました。

12月在籍者数	12月出席者数	出席率	ファン 他	B (円)	F (g)	CS・TOP・ A S F (円)	B A P Y (円)	ロ (円)	バ
メ ン 12	メ ン 7	83%			0	0	0	0	0
メネット 8	メネット 0				0	0	0	0	0
	ゲストら 4				0	0	0	0	0
計 20	合 計 11				0	0	0	0	0

★強い義務感を持つと 義務はすべての権利に伴う★

☆12月の第1例会から☆

若木 一美

日時：12月5日(土)18:00~20:00
 場所：湘南とつかYMCA 1階ホール
 出席者：高井洋一郎とつかYMCAリーダー会長
 北川政憲 とつかYMCA ウェルネス職員
 ほか職員2名
 浦出・岡・瀬戸・吉原・若木：5名
 加藤・柴原：ZOOM 計) 11名



11月中旬からGoToによる人の往来と精神的な安心感が重なり、急速な感染拡大となりました。会員のご家族から心配する意見も聞かれ、今回初めてオンラインを採り入れました。加藤・柴原のお二人がオンライン、浦出・岡・吉原・若木、それに瀬戸の皆さんは会場参加で12月の例会は開催されました。

毎年この月にはリーダー研修会参加者からの報告と交流会を開催してきましたが、今年は報告会のみです。

湘南とつかYMCAリーダー会会長でもある高井さんから、オンラインで開催された研修会は3日間に及び、全国から約40名の参加者により意義深い研修会ができ、その中で、来年6月19日の「黒人差別を考える日」に向けて行動を起こし、例のピンクシャツデーのような活動を目指したいと、熱く語られました(写真1)。さらに、

ご自身1年半のリーダー歴と今回の研修から、「子ども一人ひとりに、寄り添うリーダーになれるよう努力したい。」と結ばれました。

続いて、ウェルネス・スタッフの北川政憲さんから、「熊本豪雨被災地支援」活動報告がありました。災害は7月3日~4日に掛けて発生、多くの被災者が廃校となっている旧多良木高校に避難し避難生活を送っていたが、コロナ感染対策や生活を元に戻すための準備等様々な支援が必要なが分り、今まで経験のある職員が派遣されていたが、今後は次の世代を担う職員を積極的に派遣することも論じられた。(因みに彼は入職6年目・写真2)



写真1

連絡事項では、12月の第2例会と2月の旅行は中止に。一同記念写真に納まり、閉会点鐘となりました。

皆様、Covid-19に要注…。



写真2



新春随想

☆ '咲かそう 人の輪' ☆

若木 一美

新しい年が始まり会員の皆様も健やかに新年をお迎えになられたことと存じます。また皆様には日頃よりクラブの運営と発展にご協力をいただき感謝を申し上げます。

さて、昨年は1月に日本で初めてCOVID-19感染者が確認され、2月には横浜にクルーズ船が入港し一気に緊張感が高まりました。その後はさまざまな場面で感染症対策が語られ、実行され今日を迎えております。

一方、疫病退散として話題になったのはアマビエ、江戸時代後期に肥後国(熊本県)の海中に「光り物」が出現し、村役人が確認に行くと「海中に住むアマビエと申す、当年より6か年は諸国で豊作が続くが、同時に疫病が流行するから、私の姿を書き写した絵を江戸に送り、人々に早速見せよ…」と告げ海中へと帰って行ったそうです。これが弘化3年4月中旬(1846年)の出来事です。(因みにジョージ・ウィリアムズがロンドンでYMCAを創設したのは1844年です。)当時コレラが流行し、それから174年が過ぎた今、またお役人が江戸から人々に見せています。

(厚生労働省の公式ホームページに有ります。右のイラスト)疫病(COVID-19)退散のPRですね…。

そこで2つの話題を…、1つは山梨県立博物館に所蔵されている「暴瀉病(コレラのこと)流行日記」に頭が2つある不思議な鳥が描かれています(右の写真)。これも疫病の予言とか…。「この姿を朝夕仰ぐと、その難を逃れることができる…」と記されているそうです。そして博物館

(お役人?)ではヨゲンノトリと名付けているそうです。2つ目は、先ほどの「アマビエ」が福島県では「アマビエ音頭」となり、ヨゲンノトリも山梨県で「ヨゲンノトリ音頭」、秋田県では秋田音頭の替え歌「五六七(コロナ)撃退音頭」が誕生するなど、疫病退散、無病息災を祈る踊りも作られています。

今年の夏には1年延期された「東京五輪」が予定されています。老いも若きも櫓を囲んで五大陸疫病退散に感謝し、これからの安寧と無病息災を祈って、これらの踊りとともに昨年からは始まった盆踊り曲「令和おどり」♪お隣同士と肩寄せてぬくもり感じてまるい輪に…♪と「日本盆踊り」♪咲いた咲いたよ人の輪咲いた…日本よいとこよお国…♪を明るく・楽しく・元気に踊り、昨年は、封印されたままの会長主題「咲かそう 人の輪」を目指したいと思います。

本年は、ワイズでは湘南・沖縄部の部長に就任が予定されています。併せてよろしくお願ひ申し上げます。

知らないうちに、拡めちゃうから。



【特別寄稿】 ☆新しい「幸せのつながり」へのネットワーク☆



早稲田大学名誉教授 木村 利人

2020年には、私たちの「つながり」の新しいユニークなネットワークがあったという間に大きく展開され、定着しました。

新型コロナウイルスの広がりには、私たちの「つながり」のネットワークを大きく変えました。ユーチューブやズームなどによる新しいつながりのネットワークが暮らしの中で定着し、仕事も自宅できるようになりました。礼拝も、聖書研究・祈祷会も、国内・国際学会も、大学も、全世界に散らばっている家族もみんなコンピュータのデスクトップでつながってお互いの顔を見ながら語り合えるのは素晴らしいことです。

日本と世界各地の大学などでの講義や「バイオエシックス（生命倫理）」関連の国内・国際会議などで、私自身は例年ですと東奔西走なのですが、昨年は2月にハワイから帰国して以降、ほとんど、我が家に居続けました。一步も外に出ないのに、私の「つながり」は、グローバルなネットワークに載せて、沖縄から北海道まで日本全国各地とブラジル、ハンガリー、カナダ、アメリカ、イタリアなど世界中へと広がっていったのは嬉しいことです。

2017年に「ワイズメンズクラブ国際協会／湘南・沖縄部」で、私が早稲田の大学院生時代にフィリピンでの国際ワークキャンプに参加した時に作詞した「幸せなら手をたたこう」のお話しをしました。作詞後、5年も経ってから坂本九ちゃんがテレビで歌ってくれて東京オリンピックの1964年に大ヒットしました。このインターネット時代の今でしたら、アツと言う間に流行したかもしれません。

この私の作詞の「幸せなら」は、「し（知る）・あ（愛する）・わ（和／輪を拡げる）・せ（世界に目を向ける）」のメッセージです。今こそ、インターネットで、このメッセージを広げていきたいと願っています。（もし、ご関心がありましたら下記URLをご覧くださいければ幸いです。）

<https://youtu.be/b79w-b9iJ-E>

（木村先生、お忙しい中 素敵なご寄稿を賜り有り難うございました。）

レザン通信

横浜YMCAワークサポートセンターレザン 相馬 良文



ワークサポートセンターレザンでは、利用者の活動としてクロスステッチ（手刺繍）に取り組んでいます。小さなマス目の生地には、一つひとつ色を縫い込み絵を完成させていきます。山手台保育園アルクよりご注文をいただき70枚を作成したクロスステッチは、それ自体でも可愛いのですが、ひと手間加えることにより、その存在感が引き立ちます。

クリスマスカードとして新しい命を吹き込まれた作品は、イエス様の誕生をお祝いする子どもたちに届けられ、笑顔を生み出しました。小さな働きが大きな喜びにつながる瞬間です。皆様、良いクリスマスを…。



☆設立 90 周年おめでとう…☆ 加藤 利榮

横浜クラブは1930年12月15日に国際加盟し、以来先達の並々ならぬお働きと会員皆さんの弛まぬ努力により今日を迎えることができました。今となれば東日本区60クラブ中の最古参、また東・西日本区では大阪・神戸に次いで3番目の歴史あるクラブ、横浜YMCAのサービスクラブとして、ますます活発に活動されております。

例により、年寄りらしく、一つ二つの思い出話を…。

その一は、90周年記念誌（以下「年誌」）の12頁に、「楠木欽作」という方が1952年代会長になっています。どうも聞いたことのある方だな…と思い調べてみた処、私が中学の頃の音楽の教師でした（その息子の楠木創氏は‘銀座の恋の物語’など歌謡曲の作曲家）。そして7年後1959年に高杉さんの紹介で入会させていただきましたので、もうひと息早ければ…などと思いましたが、年誌にも書きましたが、クラブのチャーター一年とワタシは同年輩、以来94年に、とつかクラブに移るまで35年にわたり、ヨコハマの皆さんには存分にお世話をお掛けしました。

その二は、私が入会時すでに会員の萩原義明さんのことです。その後間もなく大阪高槻クラブに移られ、私が91年に理事になった時は、彼から「加藤さん、大阪方面のことは何でもお申し付けください、悪い様にはせんよ…」と…。更に続けて「…京都方面は、あなたの次の理事の森田さんだし、九州には直前の中村さんがおられるしね…」のひと言に大いに安堵したものでした。もうひと方、当時ヨコハマに、現在は奈良クラブにおられる濱田勉さん、彼からも似たような連絡を頂いたことを覚えており、つくづくワイズの絆の深さ・強さを身に沁みて感じたものでした。

ひるがえって、年誌の「会員プロフィール」に目を移すと古田和彦さん以外の皆さんは、いずれも2000年以降に入会の方ばかり、クラブの歴史を直接肌で感じる会員がやや少ないのでは…と。でも、モノは考えよう…、当然のことながらクラブのムードはフレッシュそのもの、そして皆さんそれぞれが大変個性豊か…、中でも、現会長の古賀健一郎さんなど、傍で拝見していて、その発言力や行動力は並外れています。彼を知る人はきっと納得いくはず…。クラブの発展が楽しみです…。それと、下の写真の様に時に中華街での集まりがここヨコハマの強味です…。

終わりに、1世紀に向け、横浜クラブが地域社会に更にコミットされるよう心より願い、お祝いの言葉とします。



☆YMCA だより☆

幼保連携型認定こども園 YMCA とつか保育園

園長 齋藤 信



YMCA とつか保育園は1999年4月1日に開園し、昨年度20周年を迎えました。開園以来、横浜とつかワイズメンズクラブの皆様には一貫して園をお支え頂いております。2020年2月1日には創立20周年記念感謝会を盛大に開催し、クラブの皆様にも多数ご出席いただきました。席上、吉原訓会長からご祝辞を賜り、地域に生きる園としての期待のお言葉に大いに励まされました。有り難うございました。

2019年4月1日には、保育園からの移行としては横浜市第1号となる幼保連携型認定こども園に移行しました。幼保連携型…とは、これまでの保育園の入園枠に加えて、幼稚園枠を持った施設です。保育園枠については横浜市が就労等の入所要件を満たす家庭について入所児童を決定しますが、幼稚園枠については、入所の条件はなく、園独自の裁量で入園決定ができます。

なぜ、私たちは認定こども園に移行したかといいますと、地域には幼稚園にも保育園にもなかなか入れない子どもたちがいるからです。待機児童が多い中で就労していない家庭だと保育園はほぼ落ちてしまいます。一方で、幼稚園は様々な理由から入園を断るケースがあります。実際に私たちの認定こども園に見学に来られた方の中には、保育園に落ち、幼稚園から入所を断られたと涙を流される方が少なくありません。理由は一概には言えませんが、断った園は、お子さんの様子を見て集団での活動になじめないだろうと決めていることが推測されます。

私たち YMCA は、友だちとの豊かな交わりの中で育ち合う環境をすべての子どもたちに提供します。聖書の「一匹の子羊」のお話のように、迷子になっている子羊がいたら見つけ出したいと思います。そのための手段として、より柔軟に、必要なお家庭の子どもたちにアプローチできる幼保連携型認定こども園になりました。

横浜とつかワイズメンズクラブの皆様には、これからも園の働きを祈りに加えていただき、応援していただけたらと願っております。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。



☆1月・2月のこよみ☆

- >1/16(土) 部評議会：関内中央 YMCA・15:00
- >1/18(月) 会員事業委員会：同上・18:30
- >1/19(火) 第2例会：湘南とつかYMCA・18:30
- >1/25(月) 湘南とつかYMCA 運営委員会・18:30
- >2/3(水) BAPY 事業委員会：関内 YMCA・18:30
- >2/11(祝) 横浜 YMCA 会員大会：ZOOM
- >2/16(火) 第2例会：湘南とつかYMCA・18:30
- >3/5(金) BAPY チャリティゴルフ大会

~Happy Birthday~
加藤 明子さん 1月5日

☆今月の歳時記から☆

‘新年 しんねん’ と ‘水仙 すいせん’

‘新年’、年の初めをいう。あらたまの年、新春、新歳ともいう。陰暦では、新年と春がほとんど一緒だったので、春といえば新年のことでもあった。

今でも「今朝の春」「明けの春」などといって新年の意をあらわす習慣が残っている。

新しき年・改まる年・年明く・年立つ・年頭など…

似合しや新年古き米五升	芭蕉
新年の白紙綴じたる句帖かな	子規
オリオンの盾新しき年に入る	多佳子

次に‘水仙’早春酷寒の候に開花し、花卉は白、花冠は黄色で匂いもよく、観賞用として庭園に栽培されるヒガンバナ科の多年草。花には一重のほか八重咲もある。

花の少ない冬に咲き、匂いがよく清楚な姿なので、古くから賞賛されている。九州の海岸には群落をなして自生している。

もともと中国産で、古く日本に渡来している。

花言葉「自尊」。



其にほひ桃より白し水仙花	芭蕉
水かへて水仙影を正しけり	たかし
水仙に狐遊ぶや宵月夜	蕪村
	—午—

【掲示板】

会長

- ◎ 今月号は、♪幸せなら手をたたこう♪で知られる木村利人先生からご寄稿頂きました(3ページ)。
- ◎ 「3.11 メモリアル被災地復興支援プロジェクト」に…
石巻広域クラブの大林会長から、標記プロジェクトとして、ササニシキ新米など地元産品販売の協力方依頼が参っております。皆様のご協力をお待ちしています。
(後記)

明けまして… コロナよ、いい加減に…

~ Change! 2022 ~

(T/K)